

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

4月に行われた全国学力量習状況調査の結果について、全国や北海道の平均正答率について公表されたところです。本校にも、結果が送付されましたので、それを分析し、見えてきた本校の傾向や課題についてお知らせいたします。

1 平均正答率の比較

教科	国語A 基礎	国語B 活用	算数A 基礎	算数B 活用
全国との差	同程度	非常に高い	高い	同程度
北海道との差	やや高い	非常に高い	非常に高い	やや高い

(○非常に高い・低い・・・5%以上、○高い・低い・・・3%以上5%未満、○やや高い・低い・・・1%以上3%未満、○同程度・・・1%未満 H26 別海町調査結果公表の表現による)

2 領域別平均正答率の比較

学習指導要領の領域		全国との差	北海道との差	主な苦手な問題
国 A	話すこと 聞くこと	低い	同程度	<ul style="list-style-type: none"> 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う 目的意図に応じ、内容の中心を明確に詳しく書く 手紙の構成を理解し、後付けを書く 話し合いを通して見つけた俳句のよさを選択する
	書くこと	非常に低い	非常に低い	
	読むこと	同程度	やや高い	
	言語の知識理解技能	やや高い	やや高い	
国 B	話すこと 聞くこと	非常に高い	非常に高い	<ul style="list-style-type: none"> 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる
	書くこと	非常に高い	非常に高い	
	読むこと	やや高い	やや高い	
算 A	数と計算	高い	高い	<ul style="list-style-type: none"> 任意単位による測定について理解している 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求める
	量と測定	やや高い	高い	
	図形	非常に高い	非常に高い	
	数量関係	高い	非常に高い	
算 B	数と計算	やや低い	同程度	<ul style="list-style-type: none"> 二つの数量関係のきまりを記述する 示された資料から、求め方と答えを記述する 場合の平均の求め方を記述する 割合の比較に適したグラフを選ぶ 比較量を判断し、その判断の理由を記述する
	量と測定	やや低い	同程度	
	図形	非常に低い	非常に低い	
	数量関係	低い	同程度	

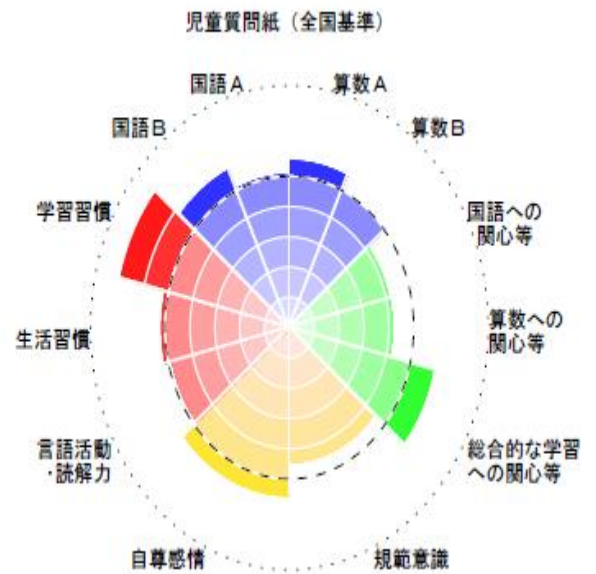
本校は、全国の正答率に比べますと、国語A・算数Bが「同程度」、国語Bが「非常に高い」、算数Aが「高い」結果でした。北海道の平均正答率の差は、国語A・算数Bが「やや高い」、国語B・算数Aが「非常に高い」結果でした。回答の状況では、無回答が大変少なく、子ども達が最後まであきらめずに取り組んだこと、自分の持てる力で答えを導き出そうと努力したことが分かりました。また、国語・算数共に基礎的な力は、着実についてきており、その活用問題にも力を発揮することができました。ただ、国語Aでは、話すこと・聞くこと、書くこと、算数Bでは、図形や記述回答に課題が見られます。

3 児童質問紙の回答状況より

児童質問紙において、特に高評価だった項目と課題の見られる項目を整理すると以下ようになりました。

特に高評価だった項目
<ul style="list-style-type: none">・自分には、良いところがある・物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ。(総合)・家で自分で計画を立てて勉強している。・学校の授業の予習をしている。・1日1時間以上学習をする。

やや課題が見られる項目
<ul style="list-style-type: none">・友達の前で自分の考えや意見を発表する。・国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組み立てを工夫している。・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。



右のグラフは、学習状況の正答率と児童質問紙の解答状況を全国（点線の黒線）と本校（色がついているところ）によって表したものです。

これを見ると、学習習慣、自尊感情、総合的な学習への関心等が全国よりも高く、言語活動・読解力、規範意識、国語や算数のへの関心等では、やや低く課題が見られます。

4 今後の方針

以上の結果を踏まえて、学校として今までの取組のよさを継続しつつ、課題解決に向けて改善を行っていきます。

具体的には、

(今までのよさを活かした取組の継続・徹底)

- 1 学習規律（子どもが学習に集中できる規律ある落ち着いた雰囲気醸成）
特に、聞く、姿勢に力を入れる
- 2 基礎学力（すらすら読む、書く、計算）
特に、漢字の読み・書き、数と計算に力を入れる
- 3 学習習慣（宿題、復習・予習）
学年×10分（6年生では1時間以上の家庭学習の習慣化が目標）
- 4 自尊感情（達成感、成就感、効力感）
自己評価、励ましの評価の工夫
- 5 総合的な学習の時間の関心等（主体的な問題解決）
自分から学習に関わる場や教師の働きかけの工夫

(今まで取組を見直し改善する項目)

子ども達の主体性、理解の深まり、伝え合う力（聞き合う）の3点を意識しながら、以下に取り組んでいきます。

- 6 国語や算数への関心等、言語活動・読解力、規範意識の向上
- 7 話す・聞く活動、書く活動、図形への理解を深める指導内容の重点化